資料３

第１回高松市創造都市推進懇談会（Ｕ－４０）要旨

開催日時：１１月３０日（金）午後６時３０分～８時４０分

開催場所：四番丁スクエア

出席者：１２名（４名欠席）

議題：高松の魅力と課題および解決策
　　A,B,C３グループに分かれ，グループワーク。
　　１５分×３ラウンド→発表

（出されたキーワードの例）

・いい街だと思える,またいいポテンシャルを自慢できる気持ちが持てていない（例えば，瀬戸内海の素晴らしさをあって当たり前，中には海を渡らなければいけないので邪魔だと思っている者さえいる）
・音楽に対するアンテナが鋭い
・県民性,市民性は流行に敏感だが熱しやすく冷めやすい,また自己アピールが苦手であり謙虚
・小さい県だが日本一のものも多いのでもっと外に発信すべき（屋島,瀬戸内の夜景,盆栽）
・昔の高松は四国の玄関口だったので，何もしなくても人が集まり，勝手に交流人口が増えていたが，今は人を集め,そこに留めるような魅力が必要
・駅，港付近にスポーツスタジアムがあればいいのでは。
・港町らしさを失っている。(港でおいしいものを食べられない)
・栗林公園等で開催されるお茶会など,他の都市より開催回数は多い。もっとＰＲすべき（文化度が高い）

その他意見

・今後，メーリングリストを作って，委員間の情報交換をする。
・今後は，定期の懇談会だけではなく，自発的なチームつくり，取組等を進めていく。
・２５年度予算に計上すべき創造的なプラン（事業）を懇談会から出す。（１月中旬までに）
・,若年層の発想を市長にプレゼンする場（公開）を作ってもらい,市として採用してもらえるようなものがあれば,市政に反映（プレゼンされた事業の予算化）してもらう。